

特別賞 青年海外協力隊富山県OB会会長賞

## 幸せの連鎖

富山市立和合中学校 三年 坂田 志帆

今、私達が生きているこの「日本」という国は、「平和」という言葉そのものです。きれいな水がすぐに手に入る、それどころか、ジュースだって飲むことができます。私達にとって、こんな小さなことが、世界を見わたすと小さなことではなくなります。私達の「そんなこと」が「すごいこと」になるときもあるのです。

私は、小学生のころ、テレビの中の世界に涙を流したことがあります。その内容は、小学生の私を、悲しませ、何より驚かせました。バケツをもった男の子が

一キロ先の川に水をくみに行つた後の映像でした。その子は、なにげなく水を手ですくい、何をするのかと思えば、その水を口に運んだのです。

「えつつ!!」

その時の素直な感想だつたのだと思います。何で。どうして。そんな汚い水を…。その男の子は、こういいました。

「きれいな水は、どんな味なんだろう。」

その時は、小学生ながら、私は、どうしたら助けられるのだろうか。私にできることは、ないのか。平等じゃないじゃないか。そう考えました。その時の私にできることは悔しいことにありませんでした。その国に行つて、きれいな水をあげたい、水を一緒にくみに行つてあげたい。そんな強い思いだけが残りました。

今、中学生になつて、世界中の人々が幸せになる方法を考えました。その国に行つて、きれいな水をあげなくても、水を一緒にくみに行つてあげなくても私にできること、それは、すごく簡単なことでした。「色々な国に興味をもつこと」それが一番早い、幸せへの方法、それが私にできることです。色々な国に興味をもつことで、その国をもつと知りたくなる、そうすればその国を知り、その国の良さが見えてくる、次に、その国とつながりたいと思う、そして活動する、すると

少しでも役に立つことができます。そんな連鎖が少しずつでも幸せを作ると思えます。この国とのつながりも分かると思えます。募金一つにしても、意味を考えながらできると思えます。この「幸せの連鎖」が、世界と日本を幸せに思っています。なので私は、「幸せの連鎖」を大事にします。これから、色々な国に興味をもち「幸せの連鎖」を広げていきます。